

令和8年度 日本大学創立130周年記念奨学金申請書（第2種）

※ 記入していただいた情報は、奨学金業務のための適正な範囲内で使用し、その他の目的には使用いたしません。

※ 申請書は2ページです。太線の枠内の項目を過不足なく記入してください。

※ 印刷する際は、両面印刷をしてください。

フリガナ				生年月日			
氏名				昭和・平成	年	月	日生（ 歳）
学部・短期大学部			学科		学年	学生番号	
本人現住所	〒 - 携帯電話： — —						
保証人住所	〒 - 電話： — —						
家族構成	家計支持者	続柄	氏名	年齢	職業（勤務先名称）		
		父			（ ）		
		母			（ ）		
					（ ）		
	就学を除外者	続柄	氏名	年齢	在学学校名		学年等

裏面につづく

大学（学部担当者）記入欄

（年額，単位：円）

家計支持者	令和7年分 給与収入	令和7年分 給与収入以外
父		
母		
（父母以外）		

【家計状況等について記載してください】

申請理由
(記述式記入欄)

※本奨学金に申請を希望する理由を記載してください。
※現在の家計状況や学費・生活費をどのように工面しているのかを記載してください。
※記載内容から本奨学金を活用し、学業継続の意欲を判断できない場合は選考対象外となります。

令和 年 月 日

日本大学学長殿

以上の内容について、学費の支弁が困難なため申請いたします。虚偽申請などの「奨学金の給付停止及び返還」及び「国の修学支援新制度との重複について」の事項（下記参照）に該当した場合は、給付を受けた奨学金を返還することを誓約いたします。また、本人が返還に応じない場合、保証人は給付を受けた額を限度として本人と連帯して返還することを保証いたします。

本人(自署) _____ 印

保証人(自署) _____ 印

【 奨学金の給付停止及び返還 】

奨学金の給付を停止又はその給付を取り消して、既に給付した奨学金の全部又は一部を返還させることがある。

- ① 休学又は退学したとき。
- ② 学則に違反する行為があったとき。
- ③ 操行が著しく不良となったとき。
- ④ 虚偽の申請があったとき。

【 国の修学支援新制度との重複について 】

国の修学支援新制度に採用されている者（第IV区分（理工農）の者及び停止中の者を除く）は、第2種には応募できません。

第2種奨学生に採用され、かつ国の修学支援新制度に採用（支援再開）された場合（第IV区分（理工農）の者を除く）は、本奨学金の資格を失うとともに、給付を受けた本奨学金の返還が必要になります。